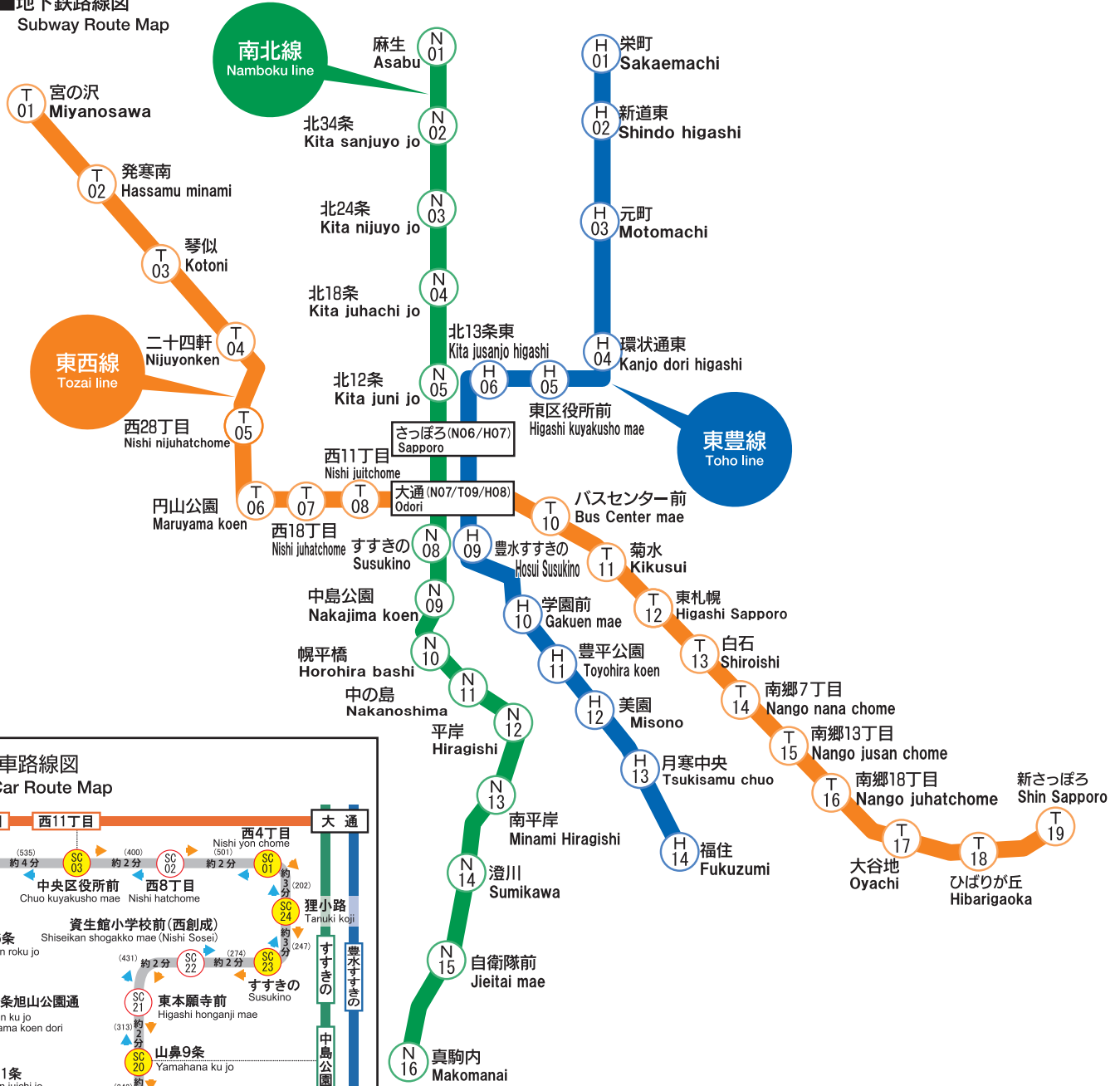


札幌市交通事業 経営計画

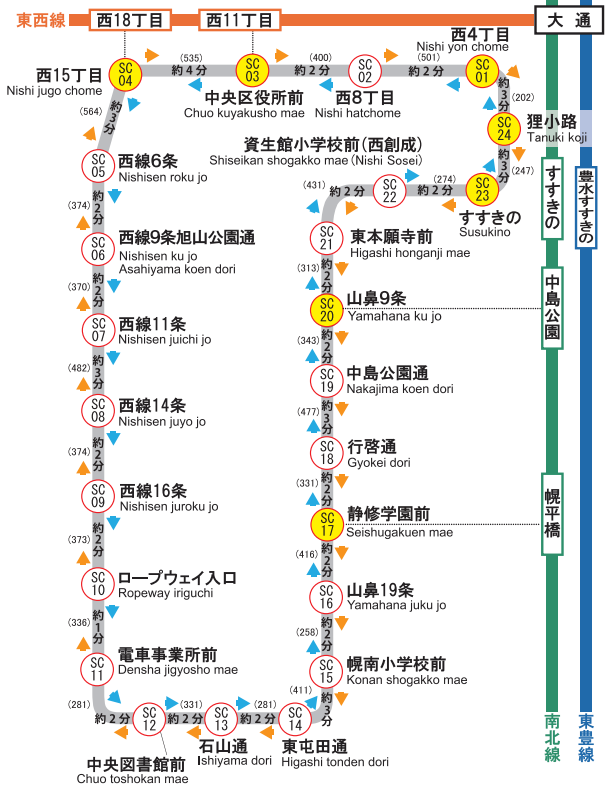
[令和元～10年度(2019～2028年度)]



■地下鉄路線図
Subway Route Map



■路面電車路線図
Street Car Route Map



凡例
Legend

- 路線記号
Line number
- 駅番号
Station number

駅ナンバリング表示
Station Numbering System

◀は外回り、▶は内回りを表します。 () 内の数字は停留場間の距離(単位m)です。
●は地下鉄との乗継指定停留場です。
※ 西4丁目・狸小路・すすきの停留場は、地下鉄大通・すすきの・豊水すすきの駅のいずれでも乗り継ぎできます。

はじめに

札幌市交通局では、平成 26 年（2014 年）6 月に「札幌市交通事業経営計画 [平成 26～30 年度（2014～2018 年度）]」を策定し、地下鉄事業においては可動式ホーム柵の設置やワンマン運転の実施、路面電車事業においては、路線のループ化や低床車両の導入など、お客さまの安全性・利便性の向上や経営の効率化に取り組んできたところです。

このたび策定いたしました「札幌市交通事業経営計画 [令和元～10 年度（2019～2028 年度）]」では、お客さまの安全性・利便性向上や経営の効率化はもちろん、近年増加する訪日外国人旅行客へのサービスアップにも力を入れています。案内表示や券売機等の多言語化、無料 Wi-Fi 設備の拡充など、より多くの訪日外国人旅行客により快適に市営交通をご利用いただくための取組を積極的に進めてまいります。

また、令和 2 年度（2020 年度）には、路面電車事業の上下分離を導入する予定であり、同事業の更なる経営改善に取り組んでまいります。

近年の公共交通事業を取り巻く環境は、社会環境や人口構造の変化などにより、大変厳しい状況であります。さらに、令和 3 年度（2021 年度）には地下鉄南北線が開業 50 周年を迎え、長期間経過した施設や設備の老朽化対策が喫緊の課題となっております。このような状況下においても、これらの取組を通じて、札幌市民や札幌市を訪れる皆さまの「足」を永く守り、今後も安全で確実な輸送サービスを行っていくことが、我々札幌市交通局の責務であります。

これからも地下鉄・路面電車が皆さまに親しまれ、より身近な公共交通機関であるために、社会環境の変化等に柔軟に対応し、今後も効率的な経営に努めてまいります。

令和元年（2019 年） 6 月

札幌市交通事業管理者 交通局長 浦田 洋

目 次

第 1 基本的な考え方

1 策定目的及び位置付け	1
2 前計画における取組状況	2
3 札幌市の交通事業を取り巻く状況	4
4 地下鉄事業の現状	7
5 路面電車事業の現状	13
6 経営理念及び経営方針	19
7 財政運営の方向性	20
8 地下鉄事業と路面電車事業の目指す乗車人員	21

第 2 事業計画(計画期間の主な取組)

1 安全の確保	22
2 快適なお客さまサービスの提供	25
3 まちづくりへの貢献	27
4 経営力の強化	31
5 目指す達成目標	35

第 3 収支計画

1 地下鉄事業	37
2 路面電車事業	40

参 考

札幌市交通事業経営計画(2014~2018年度)の取組	44
用語解説	49
パブリックコメント手続	53

注) 本計画中の※は用語解説のページで詳しく説明しています。
(※は初出部分のみに記載しています。)

注) 本計画中の各年度の数値は以下の考え方に基づいて記載しています。

- 2017以前…決算値
- 2018 …予算値又は2017決算を踏まえた見込値
- 2019 …予算値
- 2020以降…計画値

注) 本計画中の金額については、建設改良費は税込、その他は税抜で表しています。